

予 算 要 求 資 料

令和 2 年度 9 月 補正 予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 **新** 日帰り修学旅行支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教育総務課 教育対策調整室 電話番号：058-272-1111 (内 3517)

E-mail：c17765@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 209,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支 出 金	分 担 金 負 担 金	使 用 料 手 数 料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予 算 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要 求 額	209,000	0	0	0	0	0	0	0	209,000
決 定 額	209,000	0	0	0	0	0	0	0	209,000

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊を伴う修学旅行の実施が困難な状況にある。
- ・ 日帰りの行程での実施により、児童生徒が県内の地域資源を活用して見聞を広める機会を提供することができる。

(2) 事業内容

- ・ 県内の魅力ある地域資源 (関ヶ原古戦場記念館、かかみがはら航空宇宙博物館、杉原千畝記念館等) に触れ、体験する機会を設ける。
- ・ 密を避けるため増車する借上バスの経費、関係施設の入館料等を支援。

- ・ 対象は県内公立学校（小・中、義務教育学校、高等学校、特別支援学校）

（３）県負担・補助率の考え方

- ・ 教育推進協議会において、宿泊を伴う行程における感染防止策が困難であることの指摘等を踏まえ、今年度の宿泊を伴う修学旅行を見合わせるとともに、近距離地域への行き先変更や旅行日程全体の短縮も含め一層慎重に検討することを各学校に通知しており、県負担による支援が妥当。

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	168,000	市町村への補助（小・中学校等実施分）
使用料	41,000	バス借り上げ、施設入場料
合計	209,000	

決定額の考え方

4 参考事項

（１）各種計画での位置づけ

- ・ 学習指導要領 特別活動（旅行・集団宿泊的行事）
「平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと」

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 今年度、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により宿泊を伴う修学旅行の実施が困難な状況において、近距離地域への日帰りの行程での実施により、児童生徒が県内の地域資源を活用して見聞を広める機会を提供する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	(H)	(H) (H)	(H)	(R)	%
	(H)	(H) (H)	(H)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による措置

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	○
<p>感染症拡大の状況下において、教育推進協議会の意見等を踏まえ、今年度の宿泊を伴う修学旅行の見合わせや、近距離地域・旅行日程の短縮について通知している現状に鑑み、児童生徒が県内の地域資源を活用して見聞を広めることは必要性が高い。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	○
<p>小・中学校及び義務教育学校での事業実施については、当該学校の実情を十分に把握している市町村教育委員会の適切な指導のもとで計画・実施。</p>	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 年度途中での計画変更を伴う事業のため、適切な計画立案や予算配当等を行う必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による単年度措置
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	修学旅行に替わる体験学習等への支援 【私学振興・青少年課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	県内の全ての学校を対象とすることで、より多くの児童生徒に県内の地域資源を活用して見聞を広める機会を提供できる。

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	日帰り修学旅行支援事業
補助事業者（団体）	市町村 （理由） 公立学校の設置主体であるため
補助事業の概要	（目的） 市町村立学校が感染症対策を講じつつ日帰りの修学旅行を実施できるよう支援し、児童生徒が見聞を広める機会を提供する。 （内容） 移動中の密を避けるため増車する借上バス経費及び関係施設の入館料等
補助率・補助単価等	定率 10/10 （内容） 増車借上バス及び関係施設入館料の実費 （理由） 実施にあたり迅速な対応を求めるため
補助効果	
終期の設定	終期 令和6年度 （理由） 新型コロナウイルスの動向が不明のため

（事業目標）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか 体験学習等を実施できるように学校が行う環境整備を円滑に支援
--

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H**年度末)	目標 (R1年度末)	目標 (終期)
①			
②			

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 <small>(予算額)</small>	R2年度 <small>(要求額)</small>
補助金交付実績	千円	千円	千円	千円	千円
指標①目標					
指標①実績				<small>(推計値)</small>	<small>(推計値)</small>

指標①達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %
指標②目標					
指標②実績				(推計値)	(推計値)
指標②達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い
(評価)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない
(評価)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある
(評価)

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

<p>継続・削減・統合・廃止 (理由)</p>
